

令和となり 新しい時代を創る

高山市長 **國島 芳明**



明けましておめでとうございます。
皆様には、希望に満ち溢れた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、平成から令和への御代替わりがありました。市内では、平成最後の夜に提灯行列と手筒花火で、また、令和最初の日には春と秋の高山祭屋台や獅子舞、闘鶏楽などで改元をお祝いいたしました。10月には市民による奉祝パレードや祝意を込めた大花火の打ち上げも行われ、市民こぞって祝意を表したところです。

このような中、全国各地では台風や集中豪雨等による甚大な被害が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願わずにはいられません。幸いにも当市では大きな被害はありませんでしたが、最近の異常気象を考えたとき、市でも一昨年のような被害がいつ起こるともれません。そのためにも、市民の皆様には常日頃の防災への意識と地域の絆を大切にしていたくとも、市といたしましても更なる都市基盤の強靱化に向けて取り組んでまいります。

さて、令和2年となり今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。56年前に東京オリンピックが開催された時、日本人の多くが国の成長に希望の灯を実感しました。今大会を通じてなご一層、国際交流・異文化理解そして国際平和が進展することを期待しております。名誉あることに、4月4日には、ここ高山市でも聖火リレーが行われ、お祝いするセレブレーション会場としても選ばれました。大会や一連の行事を盛り上げることを通じて、市民一人ひとりがこの時代に生きた証と活力につなげることができればと考えております。

また、新年度には当市のあるべき姿とまちづくりの方

向を示す「第八次総合計画」の後半がスタートします。

当市は、400万人を超える観光客で賑わう日本でも有数の国際観光都市として成長することができました。中でも、外国人宿泊者が大きく増加しており、この賑わいを市内全域に波及させ、もたらされる資金をさらに域内で循環させる必要があります。

また、地域産業の持続的な振興のために、担い手の育成や人づくり、事業の継承に力を入れてまいります。これまで先人たちが築き上げてきた伝統文化や産業、風土をしっかりと受け継ぎながらも、多様な視点や新たな価値観を取り入れ、更なる魅力や個性を創造してまいります。安全で効率的、効果的なまちづくりに努めながらも、地域への誇りと愛着を持った市民によって支えられるまちであり続けます。

現在、日本の人口は減少に転じており、当市においても確実に人口減少と少子高齢化が進展します。減少に歯止めをかける各種施策とともに、人口が減少しても、高山に住み続けたい、高山に住むことに幸せを感じることを目指してまいります。

そのためにも、自分たちが住むまちは、どのようなまちが望ましいのかという市民の思いを尊重しながら、さまざまな組織や団体等が同じ目線に立って互いに力を合わせながらより良いまちづくりの実現に向け取り組むことが必要です。次代の子どもたちに自信と誇りを持って引き継ぐことができるよう、全力で市政運営にあたる所存です。

市民の皆様には、一層の市政への参画とご理解、ご協力をお願い申し上げます。幸せに満ちた一年となりますようお祈り申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。